

## 10月下旬！！（あれっ？11月！？）

「あなたの守りたいものは何ですか？」

そう聞かれて、いちばん最初に頭に思い描くものは何であろうか。

今年のテーマであった「わたしたちの守りたいもの」。

。技術系6部門のシンポジストからそれぞれの職場で、それぞれの立場で、「守りたいもの、守るべきもの」を講演し、検査部門からは三上淳子技師がシンポジストとして壇上に上がった。健診科の涙ぐましい取り組みの紹介とあわせて、ドル箱と言われた時代から外注化へ—検査科を取り巻く情勢の変貌、長い新人採用ゼロの時代を経て04年から再び仲間を迎え入れることが出来たことの喜びと検査技師集団としての決意などを熱く語る三上技師、そして、司会の「あなたの守りたいものは何ですか？」の質問に一言、『**民医連の旗を守りたい！**』、こう答えたのである。

「もし私が聞かれたら何て答えようかな」「命？うーん？」なんて漠然と考えていたところに、『民医連の旗』。—背筋がピンと伸びる瞬間でした。

フロアで指名された秋葉君の発言も思わず拍手の波がおきるほど立派でありましたよ。「わたしの守りたいもの」—模索中の07年晩秋であります。

（今月のヒット川柳）  
オレ様の言うことときけなきや

By Ozawa) By Ozawa and Dr?)

辞めてやる

おっと、出ました、川柳ならではの時事ネタです。古狸と古狐の化かし合い。化かされたのが国民だけだった！なんてことのないよう、しっかりと動向を見つめていかなければなりません。それにしても、辞意表明撤回にはさらに驚かされましたよね…。はい。

## 役員の皆様お疲れ様でした！！！！ そしてありがとう！！！！！！

### 第16回技術系学術集談会 検査部門実行委員

実行委員長 中野 佐和子

事務局長 大槻 知美

事務局次長 松坂 尚哉

事務局次長 松本 理恵子

実行委員 浅野目 朗子

中村 朝幸

荒井 徳男

稲辺 克之

田中 裕之

社本 薫

渡辺 幸子

渡辺 加寿子

西野 久雄

#### 全体企画

『私たちの守りたいもの』

検査部門シンポジスト

三上 淳子 技師

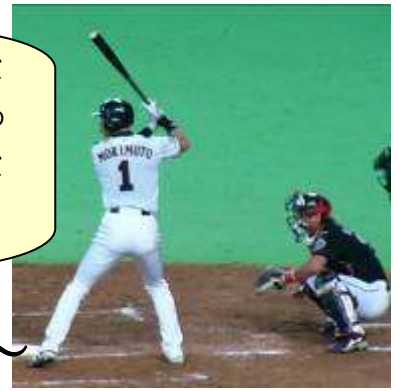
#### 学術講演

『甲状腺エコーの基本  
と考え方』

中西 富美子 技師



第16回技術系学術集談会大成功おめでとうございます。僕たちもリーグ戦で優勝することが出来たし、北海道ではラッキーなことばかりさ♪これからも応援よろしくね♪



## ～第16回技術系学術集談会終えて～

実行委員長 中野 佐和子

10月27日～28日に札幌コンベンションセンターにおいて技術系学術集談会が行われました。実行委員を始め多くの方々にご協力をいただき開催することが出来ました。本当にありがとうございました。m(u\_u)m

2年に1度の隔年開催となり3回目となる今回、みなさんはどんな感想を持ちましたでしょうか。思えば1年以上前にあまり考えもせず、実行委員長を受けてしまった私です。今年の2月に道民医連の集談会に向けた検討チームが立ち上がり、全体会の企画、テーマの構想から関わりましたが、最初の会議から、とっても大変な任務をやることになってしまって受けなきゃよかったかな～なんて思っていました。実行委員会の体制ができてからは事務局長の大槻さんをはじめ事務局、委員のみなさんに助けられ、なんとか全うすることが出来たと思っています。

今回は一般演題をひとつの会場でみんなで聞きたいということにこだわって企画を立てていきました。例年より終了時間が遅くなってしまって申し訳なかったのですが、それぞれの法人、院所、セクションの取り組みや担当分野とは別の分野の発表を聞く機会となり刺激になったんじゃないでしょうか。

参加者がちょっと少なかったのが残念でしたが、次回2年後に期待して私の任務終了！となります。事務局、実行委員のみんな～お疲れ様。(^-^)/～

# お疲れさまでした～





# ～技師川柳～

サラリーマンだけが辛いんじゃないっ！

技師だって川柳を詠んで

日常の悲喜交々を表現したいんだっ！！

今月の技師川柳は中病検査室よりご投稿頂きました。それぞれの句に注釈が付いてありますが、ホントにこれって実話なの！？と漫画みたいなやり取りが目につかんで思わず笑ってしまいました。皆さんの中にも同じ経験をされた方がいるのではないのでしょうか。

アナタも川柳を詠んで自分を解放してみませんか？

ふらすこ編集スタッフ一同心よりお待ち申し上げます！！

## ☆ 胃カメラで 生まれて初めて パン食べた

（「朝ごはん食べないで来てね！」と言われて、パンを買って夫婦で食べてから胃カメラ検査に来ました。老夫婦です。実話！・・・う～ん、美しい夫婦愛。「米しか食わんぞ！」という頑固な明治生まれの夫に、「今日は朝ご飯は食べれないんです。検査で体力使うからパンだけでも食べて」とかいかいしく夫の健康を気遣う大正一ケタ生まれの妻、ってところでしょうか。Always 三丁目の朝日って感じ！？）

## ☆ 忙しい 時に限って 鳴る電話

（こちらの状況を知ってわざとかけて寄こすんじゃないか、って気持ちが歪んできます。忙しいときこそ寛大な気持ちを持ちましょう。いや、ホント、つらいっす！）

## ☆ 催促の 電話なければ 終わってた

（検査途中に鳴る電話、手を止めて受話器を取ったら「まだ？早くして」との催促の一声。くう～、この電話がなければ済んでいたのに～！！）

## ☆ 忙しい！ 応援よんでる ヒマもない

（忙しかったらコールして、のコールさえも出来ないほどの状況の時。居酒屋に置いてある注文するときを押すボタンがあったらどんなにいいか、と何度思ったことでしょう。へいっ、枝豆一丁！）

## ☆ 出し切った 後で気がつく 尿カップ

## ☆ 申し訳 なさそうに出す 空コップ

（こちらは、採血コーナーでの1コマです。尿が満杯でガマンの限界、ラベル出すのももどかしく尿カップを患者さんに渡すことよくありますね。受け取った患者さんも、トイレに入ったとたん安心したせいか、すっかり尿カップの存在を忘れてしまい、スッキリ爽快。慌てて気づくも後の祭り。あんなに急いで尿カップを出してもらったのに申し訳ないと、消え入る声で「全部出しちゃいました」一緒に差し出す空のカップが妙に切ない！ う～ん、残念！！）

